

令和 4年 6月22日

泌尿器科学講座教育・研究組織に関する提言

1. 講座のあり方と方向性

泌尿器科学講座は、泌尿器科学に関する教育と高度な専門的医療を行い、地域医療に貢献する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、特に人材の確保に努める必要がある。

2. 診療

高度な泌尿器科診療を中心に、本学附属病院における診療の中核となって腎移植をはじめとした先進的医療を実践し、また、他診療科及び診療部門等との連携の下に地域医療を推進することが求められる。

3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

4. 研究

上記の診療・教育に関連した臨床的、基礎的研究を推進していくことが求められる。

5. 社会活動

地域医療に対して積極的に貢献することが求められる。

6. その他

泌尿器科学講座の構成員として、第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院の中核となり、診療機能の充実を果たすとともに、講座・診療科を統率する能力を有する人物が求められる。

泌尿器科学講座教育・研究組織提言委員会

廣田和美（委員長）、袴田健一（副委員長）、鬼島 宏、
伊東 健、富田泰史、大門 眞、石橋恭之、横山良仁